

矢作川流域圏懇談会通信

R7 流域連携 vol. 4



発行日：令和7年11月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第17回いい川・いい川づくりワークショップinひょうご神戸に参加しました！

兵庫県神戸市で開催された第17回いい川・いい川づくりワークショップに参加しました。エクスカーションや各団体からの活動内容の発表・公開討論会の選考を経て様々な方と交流することができました。

矢作川流域圏懇談会のような場が全国で必要であることを情報発信しました。入賞こそ逃しましたが、愛知・川の会近藤氏が広松伝賞を受賞しました。様々な方に懇談会の活動内容を知っていただき、交流することができました。

また、阪神・淡路大震災から30年という大きな節目の地で、流域の未来を見据えた“いい川づくり”の対話と連帯を、ともに紡ぎました。

日時：令和7年10月24日（金）～26日（日）

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO（キイト）



◆経緯とイベントの内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

1. 経緯とイベントの内容



■経緯（HPより抜粋）

私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、各団体が事例や取り組み、思いを持ち寄り、発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いから開催されました。

■主なイベント内容

- ◇エクスカーション（3つのコースから選択（明石川、尼崎運河、湊川隧道））
- ◇全体発表会（応募した41団体が1団体3分で活動内容等を発表する）
- ◇テーブル選考（一次選考。7グループに分かれ、選考員を中心に議論を行い、各グループ2団体を選定）
- ◇復活選考（ポスターセッション型式の交流とともに、テーブル選考の選外から新たな視点で5件程度を選定）
- ◇全体選考（二次選考。合計19団体の中から、参加者を含め全員で議論の上、選考員の投票により選定）
- ◇公開討論（最終選考。別の選考員がさらに議論を行い、入選団体の中からグランプリ等を決定する）
- ◇表彰式（グランプリ、準グランプリ、入賞、入選、”いい川”技術賞、森清和賞、広松伝賞、玉一アクアリウム賞を表彰）
- ◇特別セッション「阪神・淡路大震災から30年のまちと水辺を語り合う」ゲスト：野崎隆一氏
- ◇韓国川の再生ネットワーク（韓国大会）のみなさんより挨拶

2. 10月24日のエクスカーションについて



『兵庫のオモロイ水辺エクスカーション』と題して、3つのエクスカーションが実施されました。

■コース①：玉一アクアリウムと明石川で生き物調べ

◇概要：玉一アクアリウムの活動場所である明石川と伊川の合流地点で生き物調査をしました。

■コース②：尼崎運河クルーズ

◇概要：武庫川地先から尼ロックへと北上し、水門内の工業地帯をめぐる約1時間のクルーズです。尼崎南部再生研究室の若狭健作さんにガイドしていただきました。

◇協力：若狭健作さん（尼崎南部再生研究室）

■コース③：湊川隧道ツアー

◇概要：西島さんに解説していただきながら、湊川隧道を見学しました。新開地駅周辺の市場も散策しました。

◇協力：西島陽子さん（湊川隧道部副部長）

写真はコース③より





3. 矢作川流域圏懇談会の参加およびグランプリ・準グランプリ受賞団体の紹介

■グランプリ：ヨシの糸が全国の人と水辺をつなぐで賞

特定非営利活動法人 新潟水辺の会 ～『潟思い』から始まる『新潟ブランド』の創造～

■準グランプリ：川を見つめる多彩なまなざしがその川の姿をこすり出していくで賞

高瀬川モニタリング部 ～川との新しい関わり方、川や人が混じり合うプロセスに着目～

■矢作川流域圏懇談会 ～流域は一つ、運命共同体～

矢作川流域圏懇談会のような情報発信・ネットワークづくりが全国で必要になることを懇談会員の近藤氏を中心に情報発信しました。これまでの功績から近藤朗氏が広松伝賞を受賞しました。

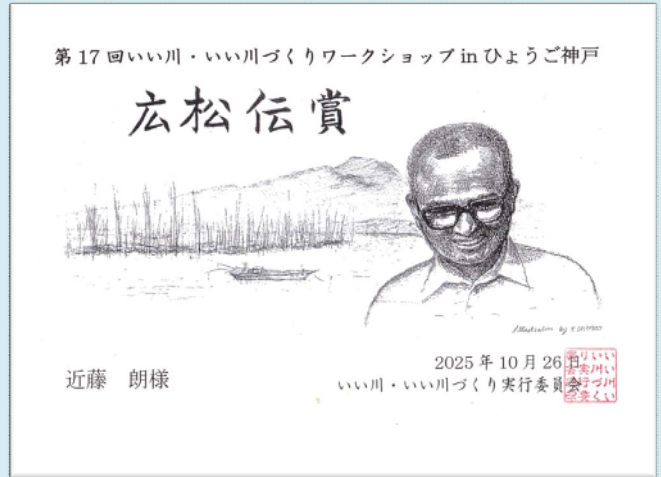
【広松伝賞の審査基準】

- ・市民・住民の視点や立場で川や水辺の保全、回復に貢献するなど、市民のために働いた人
- ・笑顔の素晴らしい人
- ・多くの人々が認める“いい男”、“いい女”、“いいグループ”

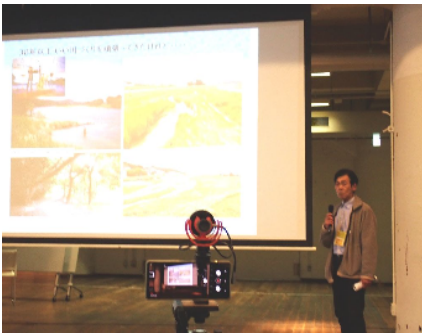
【広松 伝 1937～2002】

福岡県柳川市の職員として柳川の掘割が荒廃していくなか、埋め立て計画に反対し、地域住民とともにドブ浚いから始め、掘割の再生を果たした。この活動は、「柳川掘割物語」（監督：高畑勲 1987年公開）として映画化され、全国の川再生活動に大きな影響を与えた。「柳川水の会」会長、全国水環境交流会 理事他。著書に、「柳川掘割から水を考える」（藤原書店、1990）、「よみがえれ！“宝の海”有明海」（藤原書店、2001）

※いい川・いい川づくりワークショップ資料より抜粋



4. 当日の様子



全体発表会の様子



復活選考の様子



表彰式の様子（近藤氏）



表彰状を掲げる近藤氏

目を覚ませ！人口減少時代だ、大変だけど全員でワクワクしながら「いい流域を創ろうぜ」プロジェクト始動！

種（はなはつ）が繁げるぞ！

矢作川流域圏懇談会 with 伊勢湾・遠州灘流域創造チーム
地域の未来・応援センター 未来創造プログラム

学生・若者と共に行こうプロジェクト

幹流川・急げ子どものネットワーク

臨海・海岸・浄水 with 全川川ごみネットワーク

22世紀居住の湧プロジェクト

愛知・川の会 & 中部流域連携ネットワーク

川や水辺の名称	やまがわはらみ いせわん・あしあがり せうらいせけん 矢作川流域伊勢湾・遠州灘流域圏	活動や事業のテーマ/プロジェクト名	目を覚ませ！人口減少時代だ、大変だけど全員でワクワクしながらいい流域を創ろうぜ
所在地	愛知・岐阜・三重・長野・静岡県伊勢湾・遠州灘流域	応募者名	近藤朗（こんどうあきら） 矢作川流域圏懇談会
所属団体名	伊勢湾・遠州灘流域圏創造チーム	所属団体名	with 伊勢湾・遠州灘流域圏創造チーム
		エントリーNo.	401

当日使用したパネル

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

